

Clean-Trace™
NG Luminometer

3M™ クリーントレース™ データレンディングソフトウェアセットアップガイド

※結果の分析手順など詳細の取扱説明書は弊社WEBページの
「3M™ クリーントレース™ データレンディングソフトウェア 取扱説明書」をご参照ください。
<http://www.mmm.co.jp/microbiology/products/cleantrace/ung3.html>

※保証書をご返送いただいたお客様には「3M™ クリーントレース™
データレンディングソフトウェア 取扱説明書」の冊子をお送りいたします。

2012.12



事前準備：ソフトのインストール

名前	更新日時	種類	サイズ
現在ディスクにあるファイル (10)			
Images	2012/03/09 0:19	ファイル フォル...	
languages	2012/03/09 0:19	ファイル フォル...	
software	2012/03/09 0:19	ファイル フォル...	
styles	2012/03/09 0:19	ファイル フォル...	
USB Drivers	2012/03/09 0:19	ファイル フォル...	
3m_Lico	2008/05/14 23:11	アイコン	32 KB
autorun.inf	2010/09/17 16:54	セットアップ情報	1 KB
index.html	2011/09/24 1:30	HTML ドキュメ...	5 KB
ShellExec.exe	2008/01/13 0:24	アプリケーション	248 KB

①付属のCD-R「3M Clean-Trace™ ATP System CD」をPCIにセットし、「software」フォルダを開きます。

名前	更新日時	種類	サイズ
現在ディスクにあるファイル (1)			
3M Clean-Trace Data Trending Softw...	2011/12/03 2:03	アプリケーション	64,531 KB

②セットアップファイル「3M Clean-Trace Data Trending Software.exe」を起動します。

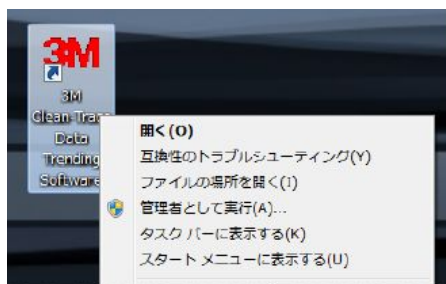
*Windows VistaおよびWindows 7 の場合には、
初回のみ右クリックから「管理者として実行」を選択してください

事前準備:ソフトのインストール



③画面の指示に従って“Next >”をクリックしていきます。
インストールは英語でおこなわれますが、インストール後に日本語表示に切り替えることができます。

事前準備:ソフトのインストール



④デスクトップのアイコンからスタートメニューからプログラムを起動させます。
*Windows VistaおよびWindows 7 の場合には、
初回のみ右クリックから「管理者として実行」を選択してください

事前設定:ドライバのインストール

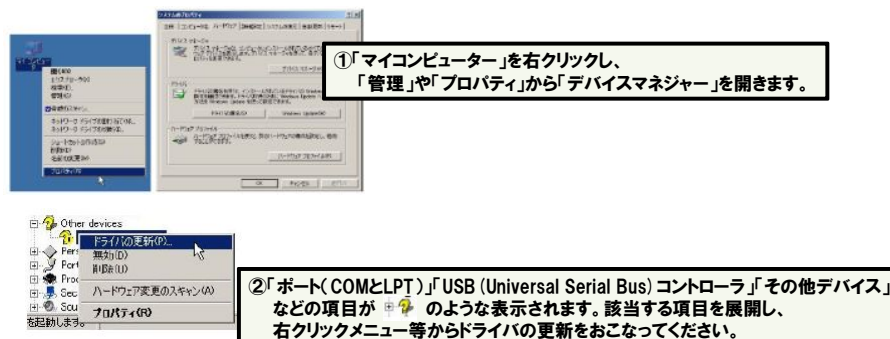


① UNG3とPCを付属のUSBケーブルで接続して、UNG3の電源を入れます。
新しいハードウェアの検出ウィザードに従って2種類のUSBドライバをインストールします。(2回繰り返し)

事前設定:ドライバのインストール

ドライバのインストールがうまく行われない場合

<Windows XPの場合>
UNG3とPCを付属のUSBケーブルで接続し、UNG3の電源を入れた状態で下記作業を行います。



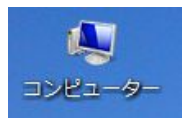
※インストールがうまくいかない場合は
11ページ以降をご参照ください。

事前設定:ドライバのインストール

ドライバのインストールがうまく行われない場合

<Windows Vista, 7の場合>

UNG3とPCを付属のUSBケーブルで接続し、UNG3の電源を入れた状態で下記作業を行います。



①「コンピューター」を右クリックし、「管理」や「プロパティ」から「デバイスマネージャー」を開きます。

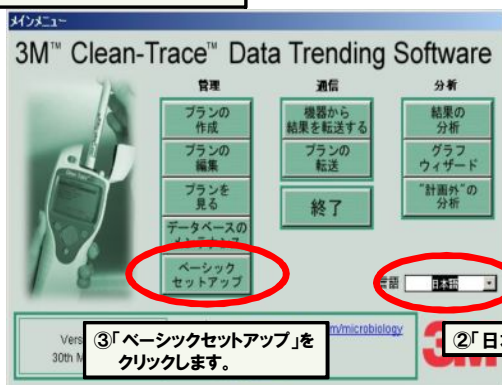


②「ポート(COMとLPT)」「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」「ほかのデバイス」などの項目のアイコンに「？」や「！」が表示されます。該当する項目を展開し、右クリックメニュー等からドライバの更新をおこなってください。

※インストールがうまくいかない場合は
14ページ以降をご参照ください。

事前設定:初期設定

①USBケーブルで機器とPCを接続します。



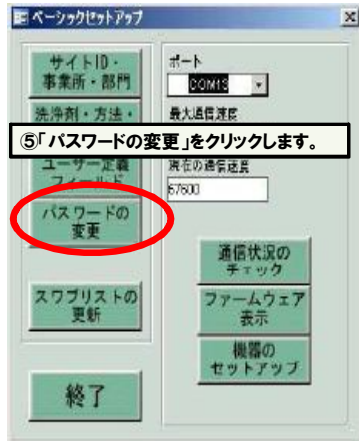
③「ベーシックセットアップ」をクリックします。

②「日本語」を選択します。

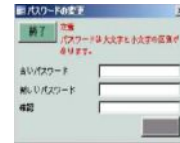


④「229:通信ポートエラー」のメッセージが出た場合には「OK」をクリックします。

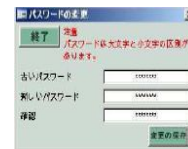
事前設定:初期設定



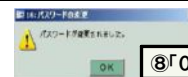
⑤「パスワードの変更」をクリックします。



⑥ 初期設定パスワードと新しいパスワードを入力します。
* 初期設定は「temp123」となっています。
* パスワードは半角英数字のみ有効となります。

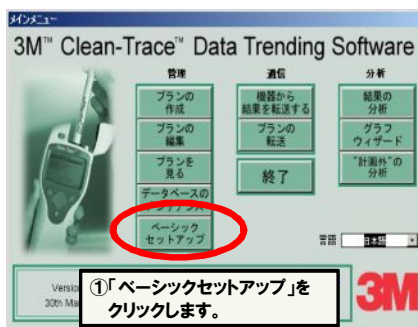


⑦ EnterキーもしくはTabキーを押すと「変更の保存」ボタンが表示されます。
「変更の保存」をクリックすると、新しいパスワードが保存されます。

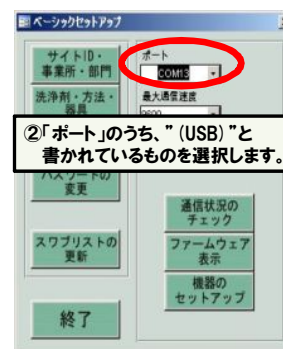


⑧「OK」をクリックします。

事前設定:管理



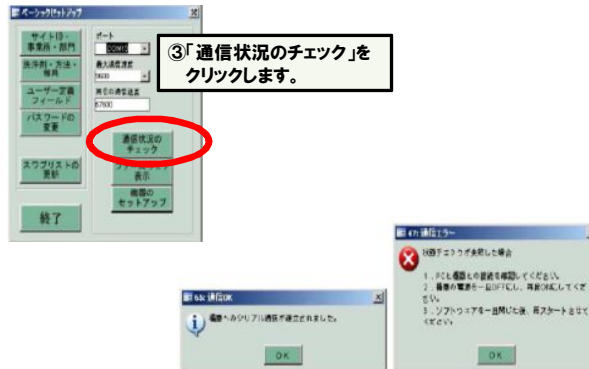
①「基本設定」をクリックします。



②「ポート」のうち、「(USB)」と書かれているものを選択します。

*「ポート」のうち、「(USB)」と書かれていない場合には、以下の項目をお試しください。
 ・本体の電源が入っており、メインメニューが表示されていることを確認する
 ・USBケーブルを接続しなおす
 ・ソフトウェアもしくはコンピューターを再起動する
 ・ソフトウェアを起動してからUSBケーブルを接続する

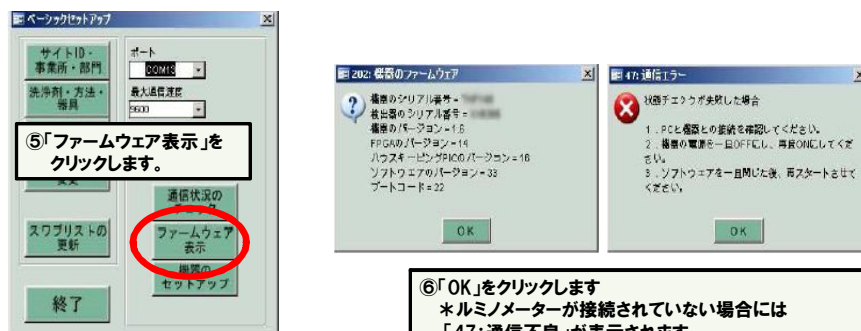
事前設定：管理



④「OK」をクリックします。

*「47：通信不良」が表示された場合
USBケーブル接続直後やルミノメーターがスタンバイモードの場合は
再度「通信状況のチェック」をクリックしてください。

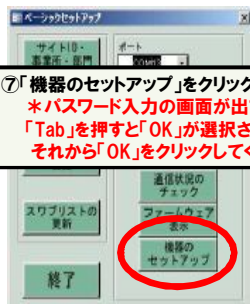
事前設定：管理



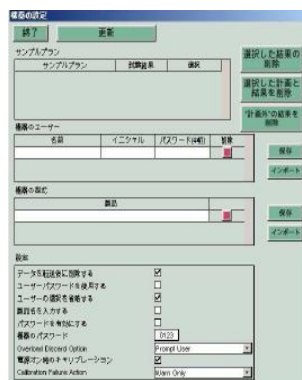
⑥「OK」をクリックします
*ルミノメーターが接続されていない場合には
「47：通信不良」が表示されます。

事前設定:管理

※⑦～⑫は省略可



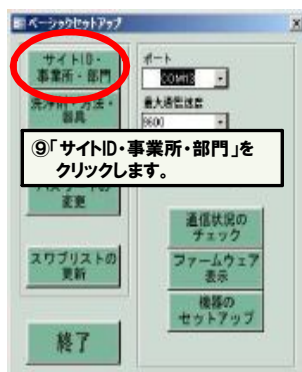
⑦「機種のセットアップ」をクリックします。
*パスワード入力画面が出てきます。
「Tab」を押すと「OK」が選択されます。
それから「OK」をクリックしてください。



*「機器の型式」は「製品名」(食材の種類)の誤りです。

⑧「設定」の項目の「製品名を入力する」にチェックを入れる。

事前設定:管理



⑨「サイトID・事業所・部門」をクリックします。

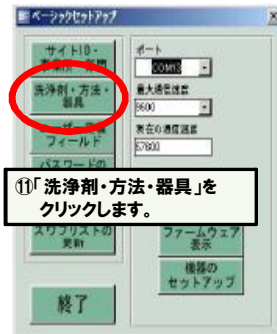


⑩詳細を入力します。

項目	入力例
サイト ID	会社名・工場名・店舗名
事業所	工場名・店舗名
部門	部門名・ライン名
管理者	管理者名・責任者名

*複数の事業所やラインで定期的な測定をおこなう場合には事前設定をおこなっておくと、データを集計する際の判別が容易になります。
*それぞれの事業所やラインで測定をおこなうサンプルプランを作成します。1台のパソコン(例えば本社)で作成したサンプルプランを複数のパソコンにコピーすることも可能です。

事前設定:管理



①「洗浄剤・方法・器具」をクリックします。



*「化学物質の名前」は「洗浄剤」の誤りです。

②「洗浄剤」「洗浄方法」「洗浄器具」をそれぞれ入力し、「終了」を押します。

事前設定:サンプルプランの作成

- *いくつかのテストポイント(測定箇所)をまとめたものがサンプルプランです。
- ・ 1つのサンプルプランにつき、最大300点のテストポイントを登録できます。
 - ・ 測定装置へ最大100件のサンプルプラン (もしくは最大2000点のテストポイント)を転送することができます。



①「プランの作成」をクリックします。

事前設定: サンプルプランの作成

サンプルプラン作成

サンプルプランの詳細

サンプルプラン

作成者

テストポイントリスト

並び順	テストポイント	略称	部門	単位	下位単位	スワップの要否	洗滌
1							
2							
3							

- ②
- サンプルプランの名称を入力します。(半角25文字以内)
 - 作成者の名前を入力します。(半角25文字以内)
 - EnterキーもしくはTabキーを押すとテストポイントリストが表示されます。

事前設定: サンプルプランの作成

サンプルプラン作成

サンプルプランの詳細

サンプルプラン

作成者

テストポイントリスト

並び順	テストポイント	略称	部門	単位	下位単位	スワップの要否	洗滌
1							
2							
3							

- ③
- 1行目の「テストポイント」のカラムをクリックします。
 - テストポイントの名称を入力します。
 - Tabキーを押すと「略称」が自動的に表示されます。
 - その他必要情報を入力します。
 - 2行目以降もこれを繰り返します。
 - 設定が終わりましたら「保存」をクリックしてください。

通信：サンプルプランの転送

①「プランの転送」をクリックします。

②サンプルプランを選択します。

③「転送」をクリックします。

機器にサンプルプランを転送します。複数のサンプルプランを転送することができます。テストポイントの名称と基準値が登録されます。

通信：結果の転送

①「機器から結果を転送する」をクリックします。

②サンプルプランを選択します。

③「転送する」をクリックします。

サンプルプラン	テストポイント数	終了
*** UNPLANNED RESULTS ***		クリア
サンドウィッチ	6	転送する

ドライバのインストール詳細手順 <Windows XPの場合>



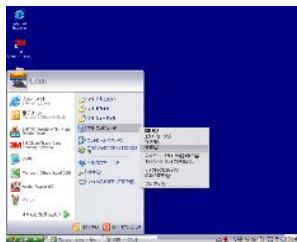
CDからアプリケーションをインストールします。



インストール中画面



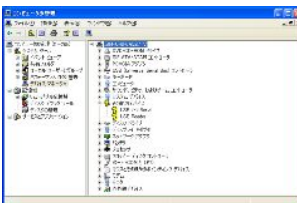
インストール完了



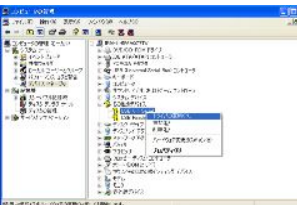
USBケーブルでUNG3をPCに接続し、UNG3の電源を入れ以下作業を行います。

カーソルを次の順にクリックし「コンピュータの管理」ウィンドウを開きます。

1. スタートボタンをクリック
2. マイコンピュータを右クリック
3. 管理をクリック



管理画面からデバイスマネージャーを選択



クエスチョン[?]又はエクスクラメーション[!]マークが付いたデバイスはインストールが完了されていません。

UNG3は2個のドライバーをインストールする必要があります。

いずれかのデバイスにカーソルを当て右クリックで「ドライバの更新」を選択します。



ドライバーのインストール「ハードウェアの更新ウィザード」が開始されます。

この画面では「いいえ、今回は接続しません」を選択します。

「次へ」で進みます。

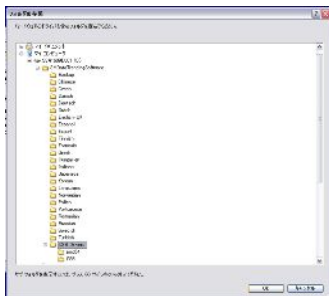


この画面では「一覧または特定の場所からインストールする」を選び「次へ」進みます。



この画面からインストールするドライバーを指定します。

画面中「次の場所を含める」にチェックを入れ「参照」ボタンを押下します。



「参照」ボタン押下後、この画面からCDから事前にインストールされた以下の場所を指定します。

(C:)ドライブ¥3MDataTrendingSoftware¥USB Driverを選択。



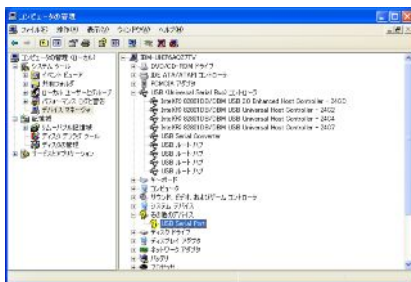
「OK」ボタン押下後、の画面から「次へ」進みます。



指定されたドライバーがインストールされます。

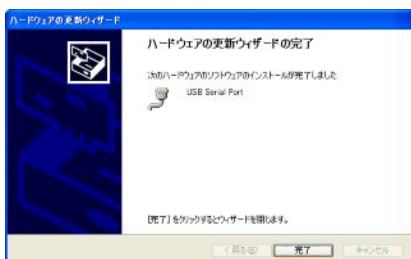


インストール完了。



2個目のドライバーも同様の手順で「USB Driver」を選択実施します。

※デバイスマネージャー内容はドライバーインストール毎に表示内容が変わりますので逐次確認ください。



以上で2個のドライバーがインストールされ完了です。

ドライバのインストール詳細手順 ＜Windows Vista, 7の場合＞



CDからアプリケーションをインストールします。



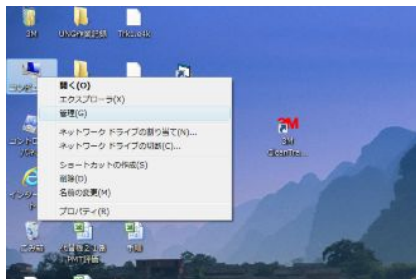
インストール中画面



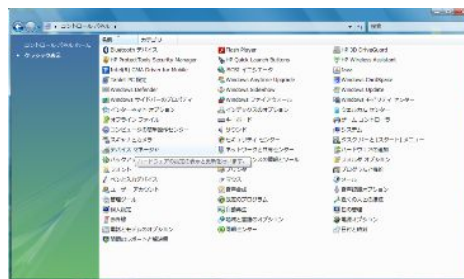
インストール完了

USBケーブルでUNG3をPCに接続し、UNG3の電源を入れます。次にデバイスマネージャー画面より接続状況を確認します。ここでは2通りのデバイスマネージャー画面の表示方法を紹介しします。

①カーソルをデスクトップの「コンピュータ」右クリック
⇒「管理」⇒コンピュータの管理画面

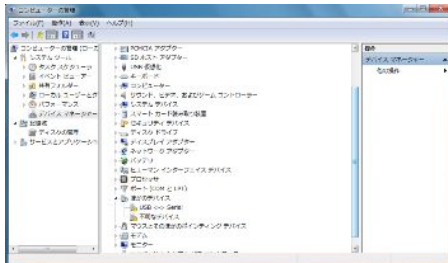


②「スタート」⇒「設定」⇒「コントロールパネル」画面から「デバイスマネージャ」を選択。
※左上「クラシック表示」を選択

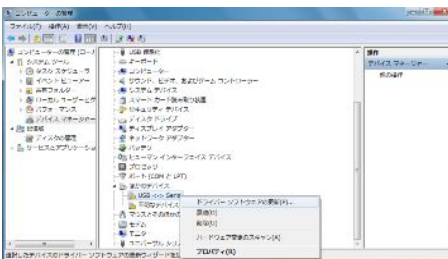


注意：操作途中ファイアウォールによる警告画面が現れる場合がありますので「続行」を押下し先に進みます。

以下管理画面からデバイスマネージャーを選択。
 ここではクエスチョン[?]又はエクスクラメーション[!]マークが付いたデバイスはインストールが完了されておりません。
 UNG3接続によるものか又は、別のデバイスかを区別するためUNG3接続時と未接続時の状況を事前に確認して頂きUNG関係ドライバーのみインストールします。



※ [USB⇔Serial] UNG3用です。
 ※ [不明なデバイス] 無関係

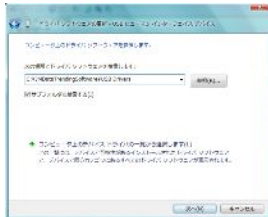


UNG3は2個のドライバーをインストールする必要があります。
 いずれかのデバイスにカーソルを当て右クリックで「ドライバの更新」を選択します。

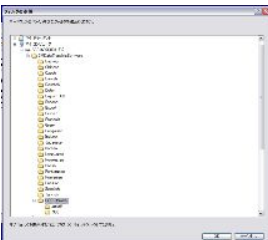


ドライバソフトウェアの更新ウィンドウが表示されます。

ここでは、下段の「ドライバソフトウェアを手動で検索してインストールします」を選択します。



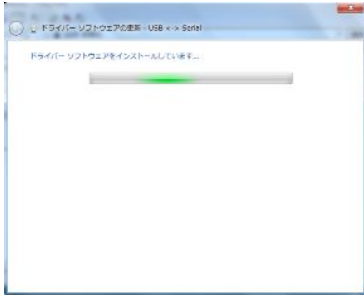
上図から本画面に移りここではドライバのフォルダを指定します。



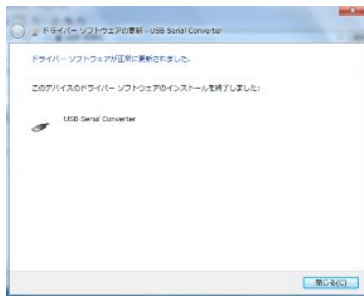
上画面の「参照」ボタンからインストールする「USB Driver」を指定します。

「参照」画面から事前にCDからインストールされた以下の場所を指定します。

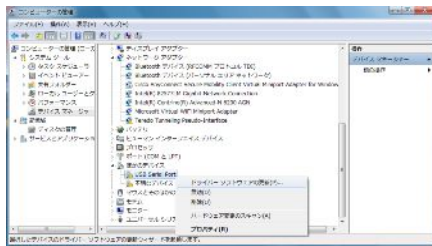
通常ディレクトリ C:ドライブ ¥ 3M Data Trending Software ¥ USB Driver



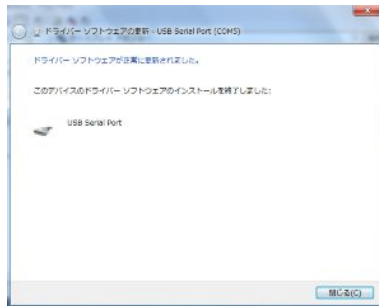
「OK」ボタン押下後、の画面から「次へ」進みます。
指定されたドライバーがインストールされます。



ドライバー「USB Serial Converter」のインストールが
完了しました。



同様の手順で2個目のドライバーを同フォルダー「USB Driver」から選択実行します。
※デバイスマネージャー内容はドライバーインストール毎に表示内容が変わりますので逐次確認ください。



ドライバー「USB Serial port」のインストールが完了しました。
以上2個のドライバーがインストールされ完了です。

修理等に関するお問い合わせ
スリーエム ヘルスケア株式会社
ハードグッズサポートセンター
0120-158-211(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 月~金(土・日・祝日を除く)

製品についてのお問い合わせ
スリーエム ヘルスケア株式会社
カスタマーコールセンター 0570-011-321(ナビダイヤル)
受付時間 8:45~17:15 月~金(土・日・祝日を除く)

3M, クリーントレース, Clean-Traceは3M社の商標です。
Microsoft, Windows, Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの
米国およびその他の国における登録商標です。

©3M 2012. All Rights Reserved

スリーエム ヘルスケア株式会社
食品衛生市場プロジェクト部
2012.12